

令和3年度 ルート協議会 アクションプラン

北海道サイクルルート連携協議会
アドバイザー会議

令和3年3月4日

ルート協議会の状況

- きた北海道ルート ……21～32
- 阿寒・摩周・釧路湿原ルート ……33～44
- トカプチ400 ……45～56
- 富良野美瑛サイクリングルート ……57～68
- オホーツクサイクリングルート ……69～80
- 石狩北部・増毛サイクルルート ……81～92
- 羊蹄ニセコエリアサイクルルート ……93～104
- 石狩川流域圏ルート(調整中) ……105～109



連携協議会 : 北海道開発局、北海道運輸局、北海道、北海道商工会議所連合会、北海道観光振興機構、シーニックバイウェイ支援センターにより構成

ルート協議会 : 市町村、総合振興局・振興局、開発建設部、民間事業者団体（観光協会、商工会議所等）、自転車関連団体等により構成

令和3年度 きた北海道ルート アクションプラン

令和3年3月4日

きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

きた北海道ルート ルート概要

○きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

- ・事務局 宗谷シーニックバイウェイ 代表者:事務局長 杉川毅
天塩川シーニックバイウェイ 代表者:事務局長 畑中覚是
- ・構成員 宗谷地域及び旭川地域の観光協会、商工会、NPO団体等(50団体)

ルートの魅力

○キャップレース

・ストレスフリーで日本のてっぺんまで駆け抜ける！(旭川市～宗谷岬)

○主な経由地

立公園:利尻礼文サロベツ国立公園

北海道遺産:稚内港北防波堤ドーム(稚内市)、宗谷丘陵の周水河地形(稚内市)、天塩川(流域市町村)、塩狩峠、塩狩峠記念館(三浦綾子旧宅)、なよろ温泉サンビラー、びふか温泉、天塩川温泉、北海道命名の地(音威子府村)、中川温泉、豊富温泉、北緯45° 通過地点、利尻礼文サロベツ国立公園、サロベツ湿原、稚内公園、北防波堤ドーム(稚内港)、宗谷丘陵、日本最北端の宗谷岬、宗谷岬ウインドファーム、白い道、サハリンの眺望

○その他

当面基幹ルートを対象に集中的に活動したいため、地域ルートを活動範囲とするかは今後検討。

ゲートウェイ(起終点)の考え方

・道外、海外サイクリストの誘客を想定し、JR旭川駅及び稚内駅、稚内空港及び旭川空港を起点のゲートウェイとして設定し、機能としては、レンタサイクル、自転車・荷物託送サービスや着替えスペース等の機能を設置する計画としている。

・JR旭川駅及び稚内駅、稚内空港及び旭川空港を起終点として、ルートの魅力である一級河川天塩川や利尻礼文サロベツ国立公園といった自然観光資源などを巡り、休憩施設や宿泊施設を利用しながら、日本最北端の宗谷岬を目標到達点とし、稚内空港やJR稚内駅を終点のゲートウェイとして設定する。

利尻島については、稚内港とを結ぶ鴛泊港、道内外を結ぶ利尻空港を起終点とする。

①起点:JR旭川駅、旭川空港

機能:マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物託送サービス、自転車組み立てスペース

②終点:JR稚内駅(道の駅わっかない)、稚内空港

機能:マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物託送サービス、自転車組み立てスペース

③起終点:鴛泊港及び利尻空港

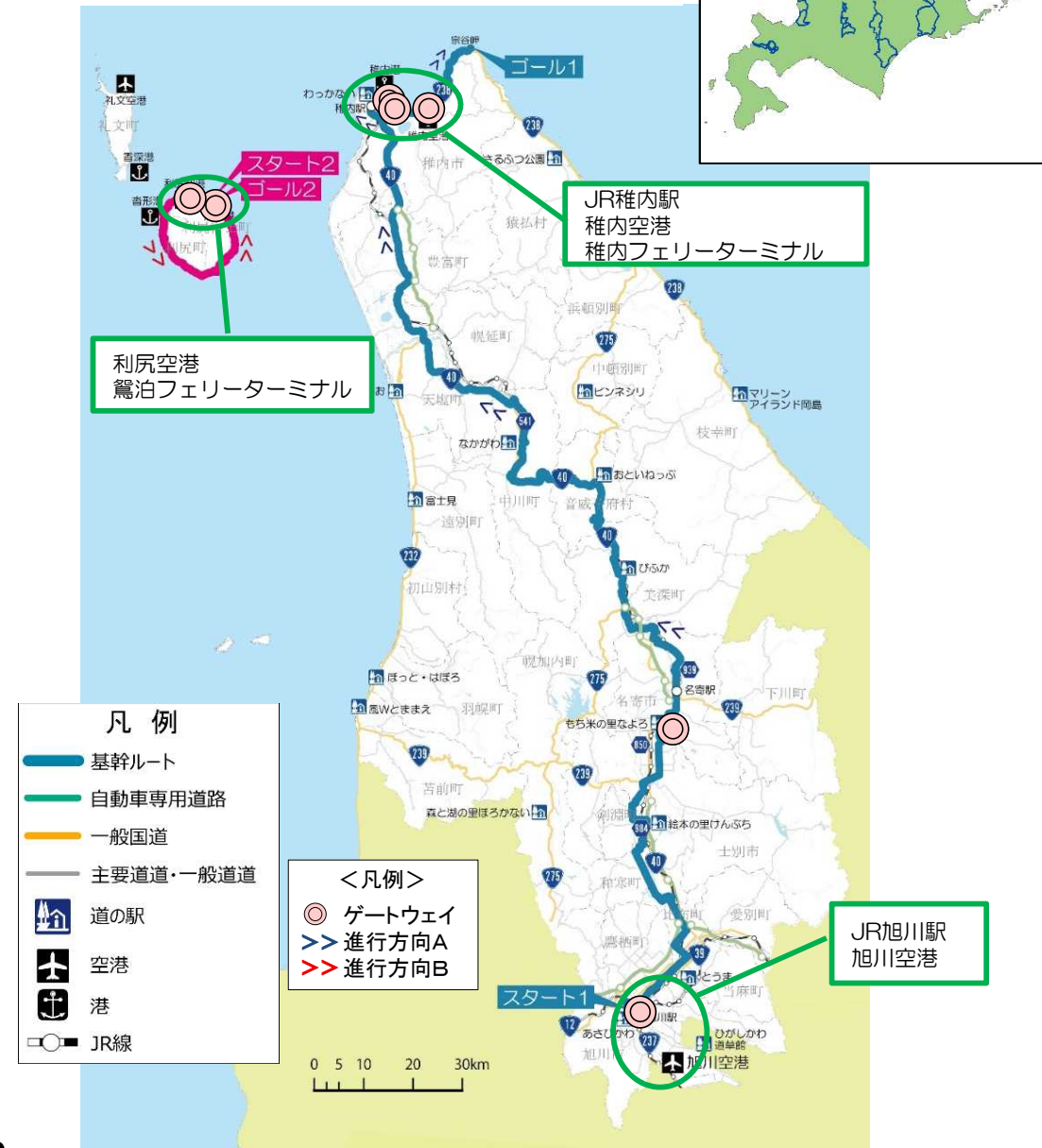
機能:マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物託送サービス、自転車組み立てスペース

・ルート1:305km、ルート2:59.8km(合計364.8km)

・通過市町村:ルート1:旭川市、比布町、和寒町、剣淵町、士別市、名寄市、美深町、音威子府村、中川町、天塩町、幌延町、豊富町、稚内市、ルート2:利尻富士町、利尻町(全15市町村)

・自転車ネットワーク計画位置づけの有無:無し

・地域ルートの有無:当面基幹ルートを対象に集中的に活動をしていきたいため、地域ルートを活動範囲とするかは今後検討する。



きた北海道ルート(走行環境:ルート案内)

- 令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容
- ・分岐点に路面表示・案内看板を設置
(整備済208箇所:35%⇒当年度末 490箇所:82%)
 - ・単路部(約5km間隔)に路面表示・案内看板を設置
(整備済66箇所:75%⇒当年度末 81箇所:92%)

案内看板設置状況(交差点部)



予告案内看板



分岐案内看板



複雑交差点での分岐表示
(予告)

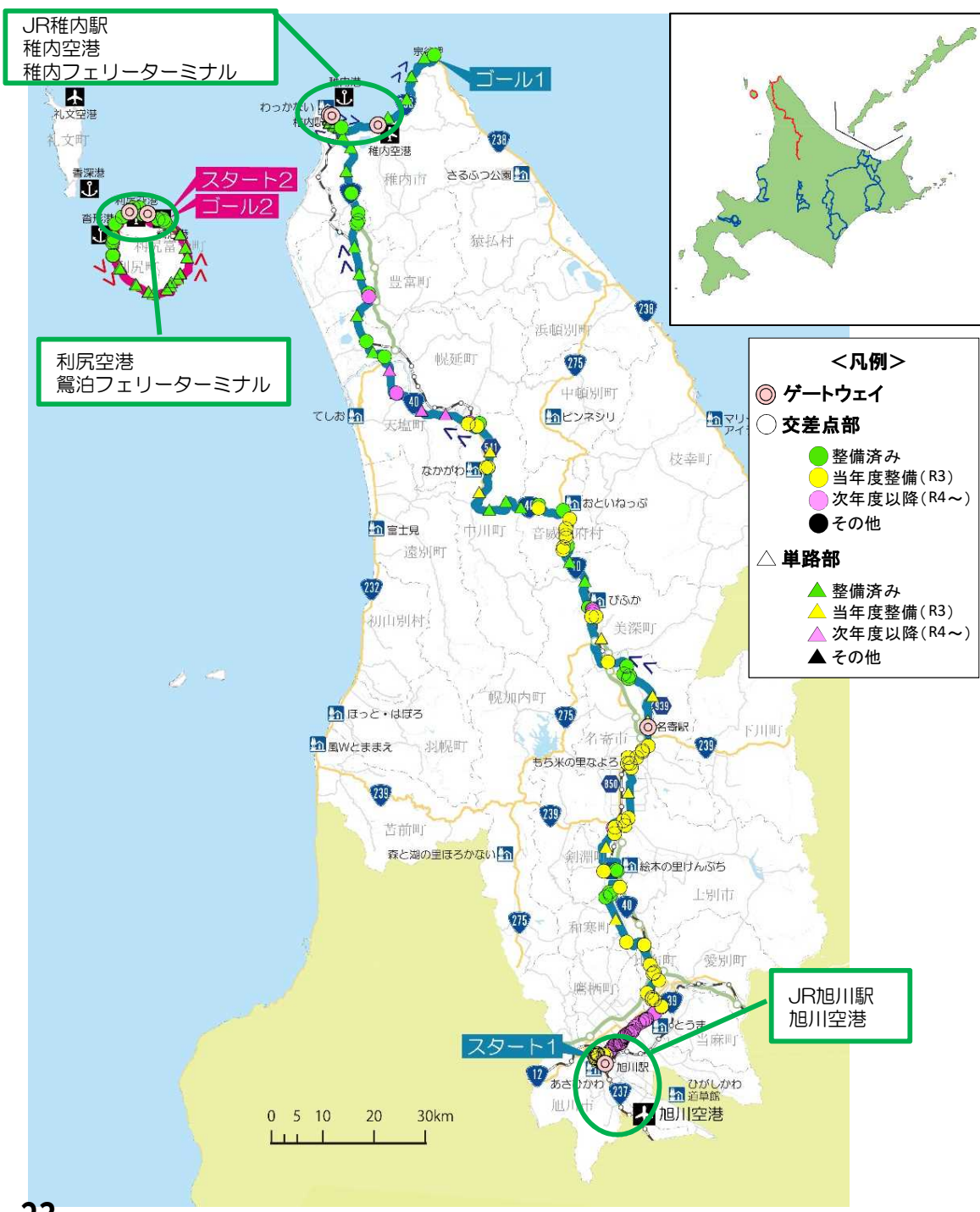


複雑交差点での分岐表示

案内看板設置状況(単路部)



単路部(5km間隔)設置箇所



きた北海道ルート(走行環境:走行環境の安全性・注意喚起)

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・主要交差点部における路面表示
(整備済1箇所:25%⇒当年度末 2箇所:50%)
- ・急カーブ前の矢羽根設置
(整備済15箇所:65%⇒当年度末 23箇所:100%)
- ・トンネル手前の矢羽根設置
(整備済2箇所:17%⇒当年度末 12箇所:100%)

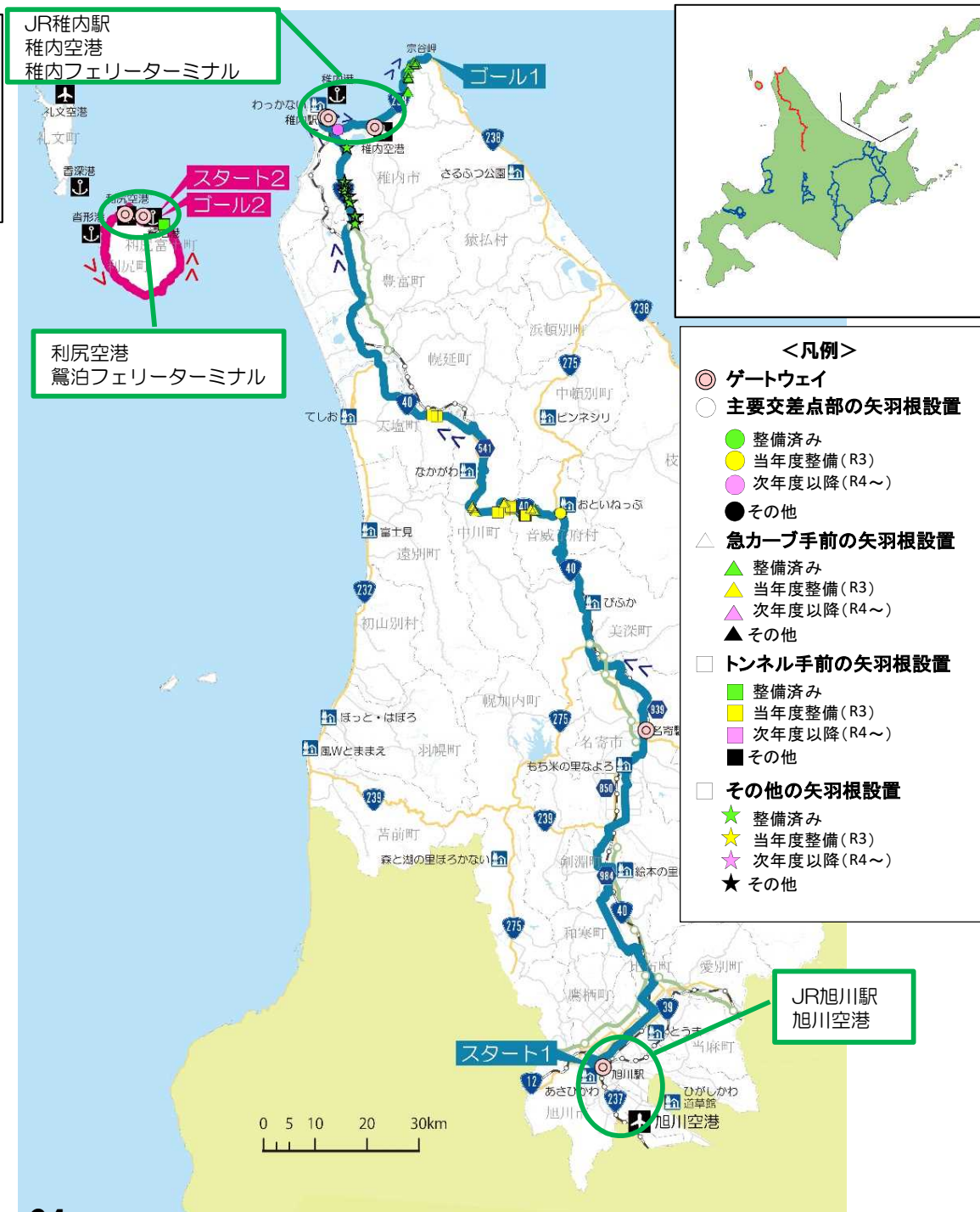
●主要交差点部における路面表示(国道40号)



●急カーブ前の矢羽根設置(国道238号)



●トンネル路面表示(国道40号)



きた北海道ルート(受入環境)

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・ゲートウェイ7箇所
 - ①旭川駅
要件6件のうち4件:67%を満たす ⇒ R4年3月末:67%
 - ②名寄駅前交流プラザよろーな
要件6件のうち6件:100%を満たす ⇒ R4年3月末:100%
 - ③稚内駅
要件6件のうち5件:83%を満たす ⇒ R4年3月末:83%
 - ④稚内空港
要件6件のうち5件:83%を満たす ⇒ R4年3月末:83%
 - ⑤稚内駅フェリーターミナル
要件6件のうち5件:83%を満たす ⇒ R4年3月末:83%
 - ⑥鷺泊フェリーターミナル
要件6件のうち5件:83%を満たす ⇒ R4年3月末:83%
 - ⑦利尻空港
要件6件のうち4件:67%を満たす ⇒ R4年3月末:67%
- ・休憩施設の設置
目標20km/箇所、現在26.1km/箇所:整備率12% ⇒ 整備予定計:12%
- ・宿泊施設の設置
目標60km/箇所、現在8.5km/箇所:整備率81% ⇒ 整備予定計:81%
- ・緊急時のサポート体制
要件4件のうち2件:50%を満たす ⇒ R3年度以降:50%(予定)

●ゲートウェイ

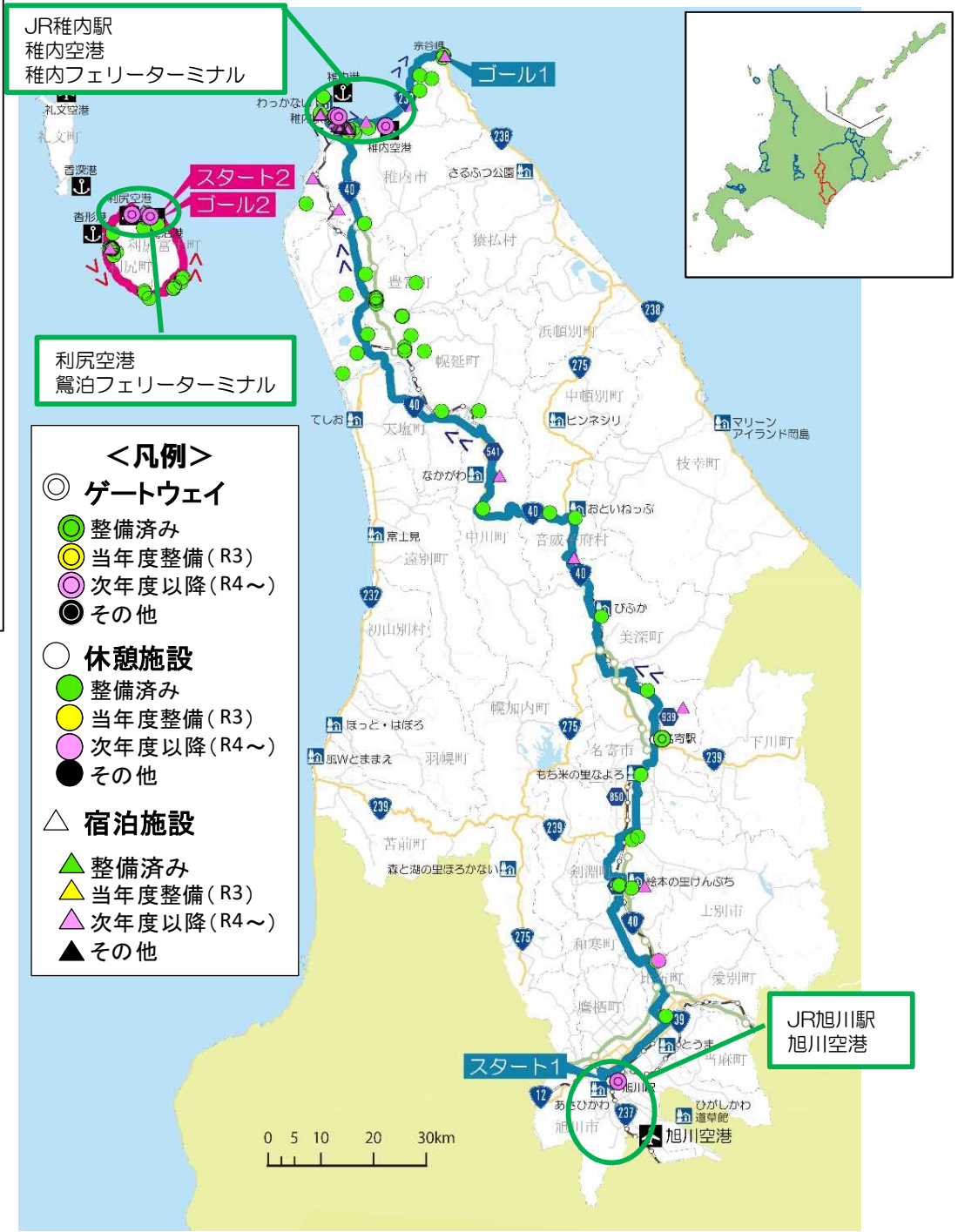


●休憩施設

●サイクリストの移動のサポート



サイクルバス(利尻島内のみ) サイクルタクシー(中川町) 緊急サポートの情報提供(そうやサイクルルートマップ)

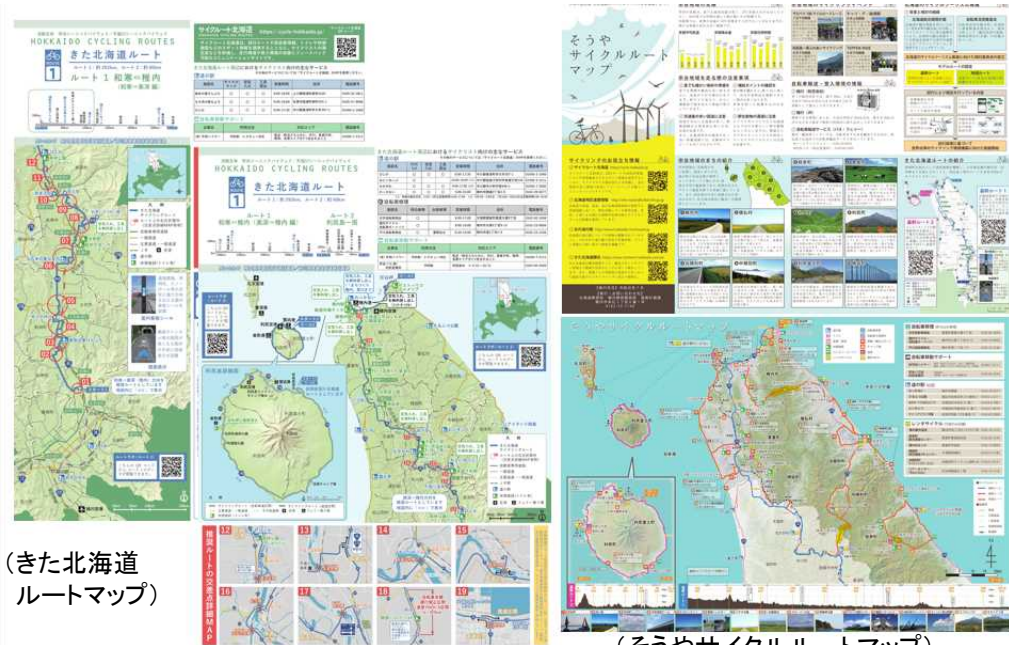


きた北海道ルート(情報発信)

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・コミュニケーションサイトの周知
サイクリングマップを活用したサイト周知(実施)
- ・各種イベントでのサイトPR実施(実施)
- ・ロゴを用いた商品を作成・販売(実施なし、次年度以降予定あり)
- ・ルートマップの作成
記載内容に沿ったマップ作成(実施)
- ・マップの多言語化(実施)
- ・ルートのPR
関連イベント・配信サイト等におけるルートのPR実施(実施)

●ルートマップの作成



(きた北海道
ルートマップ)

●マップの多言語化実施



(そうやサイクルルートマップ
英語平併記)

●サイクリングマップを活用したサイト周知

日本の最北端、宮城地域のサイクルツーリズムを満喫しよう



宗谷サイクルルートマップによるサイト周知(QRコードによるサイトへの誘導)

●ロゴマークの活用

●ルートのPR



第8回自転車利用環境向上会議
in 北海道・札幌



「北海道まるごとフェア in サンシャインシティ
2019」にてPR動画を放映

きた北海道ルート(その他の取組み)

- 令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容
- ・地方版自転車活用推進計画への位置づけ
関連市町村: **14**自治体: 現時点**0%** ⇒ 次年度以降 **14**自治体: **100%**
 - ・ルート独自の取組み
 - 路線バスに自転車をそのまま積載できる「サイクルバス(宗谷バス)」を利尻島で運行
 - 旭川から宗谷岬まで、ロコガイドが案内し、3泊4日で走破する「TEPPEN-RIDE」をシーニックバイウエールートが実施
 - 自転車だけではなく、カヌーやフットパスなど人力の移動と公共交通を組み合わせて、周遊観光する「エコ・モビリティ」についてモニターツアー等をシーニックバイウエールートが実施
 - 利尻島を一周するサイクリングイベント「利尻島一周ふれあいサイクリング(主催: 利尻島サイクリングロード・イベント実行委員会)」を実施
 - 秘境駅の活用や新しい周遊観光を目指し「チャリ・デ・秘境(主催: ほろのべ・エコモビリティを考える会)」を開催



サイクルバス



サイクルバス



TEPPEN RIDE



TEPPEN RIDE



R3モニターツアー



R3モニターツアー



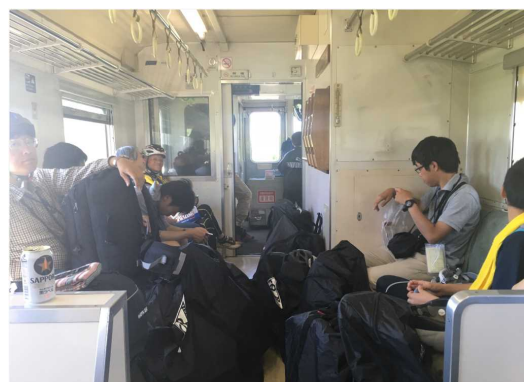
利尻島一周ふれあいサイクリング



利尻島一周ふれあいサイクリング



チャリ・デ・秘境



チャリ・デ・秘境

きた北海道ルート アクションプラン一覧

1. 走行環境

現状 → 取組推進 → 取組完了

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目			整備済み (R2年度末)	取組推進予定	
						当年度予定	次年度以降
① ルート案内	ルートが右左折で分岐する交差点で「予告」「分岐」「確認」の案内看板シールを双方向に設置する ※単路部は5km間隔で双方向に案内を設置。設置にあたっては、道路附属物等の支柱への「案内看板シール」を基本としつつ、適切な支柱が無い場合には「案内用の路面表示」によりルート案内を設置する	案内看板シール設置【交差点部】	600	設置数	208	490	600
			(必要数)	整備率	35%	82%	100%
		案内看板シール設置【単路部、5km間隔】	88	設置数	66	81	88
			(必要数)	整備率	75%	92%	100%
② 走行環境の安全性・注意喚起	国道×道道以上の交差点分岐後に10m間隔で路面表示(矢羽根)を2個以上設置する	路面表示(矢羽根)設置【主要交差点部】	4	設置数	1	2	4
			(必要数)	整備率	25%	50%	100%
	急カーブの手前では10m間隔で路面表示(矢羽根)を2個以上設置する	路面表示(矢羽根)設置【急カーブ手前】	23	設置数	15	23	23
			(必要数)	整備率	65%	100%	100%
	トンネルの手前に10m間隔で矢羽根を2個以上路面表示(矢羽根)を設置する	路面表示(矢羽根)設置【トンネル手前】	12	設置数	2	12	12
			(必要数)	整備率	17%	100%	100%
	見通しの悪いトンネルの手前には、注意喚起看板を合わせて設置する	注意喚起看板設置【トンネル手前】	12	設置数	0	2	2
			(必要数)	整備率	0%	17%	17%

きた北海道ルート アクションプラン一覧

2. 受入環境

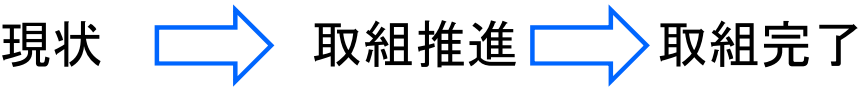


活動メニュー	対象施設 様式2-1の名称と整合	実施内容	整備進捗率		
			現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定
ルート起終点の交通拠点（ゲートウェイ）の整備	旭川駅	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	-	-	○
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			4/6	4/6	6/6
	名寄駅前交流プラザよろいな	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	○	-	-
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			6/6	6/6	6/6
	稚内駅	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			5/6	5/6	6/6
	稚内空港	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			5/6	5/6	6/6

活動メニュー	対象施設 様式2-1の名称と整合	実施内容	整備進捗率		
			現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定
ルート起終点の交通拠点（ゲートウェイ）の整備	稚内フェリーターミナル	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			5/6	5/6	6/6
	釧路フェリーターミナル	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			5/6	5/6	6/6
	利尻空港	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	-	-	○
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			4/6	4/6	6/6

きた北海道ルート アクションプラン一覧

2. 受入環境



活動メニュー	実施内容	整備予定数 (目安)	整備進捗率			現時点 整備率	当年度予定 整備率
			現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定		
(サイクルステーション)の整備 休憩施設	休憩施設の設置間隔(目安:1か所/20km)(必須項目満足施設)	119	14 1箇所/26.1km			11.8%	
	サイクルラックの設置	119	17	1	101	14.3%	15.1%
	トイレの設置	119	114	0	5	95.8%	95.8%
	水分補給設備の整備(自動販売機・飲料水の提供)	119	106	0	13	89.1%	89.1%
	休憩スペース・設備の有無(屋根付きのテーブル・椅子等)	119	92	0	27	77.3%	77.3%
	空気入れの貸出	112	13	0	99	11.6%	11.6%
	必要な物品の販売(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)	105	4	0	101	3.8%	3.8%
	必要な情報の提供 (サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート)	107	8	0	99	7.5%	7.5%
	工具の貸出	111	5	0	101	4.5%	4.5%
	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供(ルート案内看板等)	108	4	0	103	3.7%	3.7%
	WiFi	112	21	0	91	18.8%	18.8%
宿泊施設の整備	宿泊施設の設置間隔(目安:1か所/60km)(1項目以上満足施設)	53	43 1箇所/8.5km			81.1%	
	室内(フロント、ロビー、客室等)で自転車の預かり・保管	50	24	0	26	48.0%	48.0%
	フロント等にて荷物の保管	51	42	0	9	82.4%	82.4%
	洗濯機の設置	52	31	0	21	59.6%	59.6%
	宅配の受け取り	52	43	0	9	82.7%	82.7%
	洗車施設	48	16	0	32	33.3%	33.3%
	日帰り利用も可能なシャワー設備	52	9	0	43	17.3%	17.3%

活動メニュー	実施内容	整備進捗率		
		現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定
サ 急 体 制 時 の サ ポ ー ト	緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報等に関する情報提供	未	未	実施予定
	緊急通報が可能なように携帯電話のカバー圏に全線が含まれている ※含まれていない場合には一定間隔で緊急連絡が可能な公衆又は非常電話が存在する	未	未	実施予定
	トラブル時の自転車メンテナンスおよび自転車搬送サービスの提供	実施	継続	継続
	上記サービスについて、サイクリストが緊急時に利用するために必要な情報提供	実施	継続	継続

きた北海道ルート アクションプラン一覧

3. 情報発信

現状

➡

取組推進

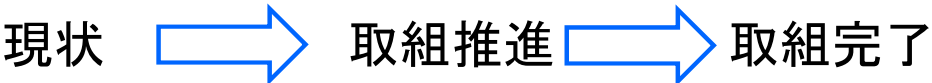
➡

取組完了

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	実施の有無	取組推進予定	
			現時点	当年度予定	次年度以降
コミュニケーション サイトの周知	コミュニケーションサイトをより多くのサイクリストに周知しルートの評価をして頂くために、ポスターやサイクリングマップ、各種イベントでのPRなどを積極的に行う	ポスター・サイクリングマップを活用したサイト周知	①管内道の駅・JR駅・稚内空港・フェリーターミナルにてポスターを掲示、ルートマップを配架 ②管内観光協会にて、ルートマップの配架	PRIに適したイベント情報の整理	・既存PR方法の拡充 ・新規PR手法の検討
		各種イベントでのサイトPR実施	地域のサイクルイベントにて、コミュニケーションサイトを周知する名刺サイズのカードの配布	PRIに適したイベント情報の整理	・既存PR方法の拡充 ・新規PR手法の検討
ロゴマークの活用	サイクルツーリズムの活動を実施するために必要な資金を得るために、ロゴを用いた商品を作成し、販売することができる	ロゴを用いた商品を作成・販売	取組無し	地域のイベントやサイクルグッズの現状について、情報の整理を行う。	全道統一のロゴマークを用いつつ「きた北海道ルート」らしさを演出するグッズを製作の上、販売する。
ルートマップの作成	ルートの起終点の交通拠点（空港及び鉄道主要駅等）やサイクルステーション等で配布するサイクルマップは以下に準拠して作成する	記載内容に沿ったマップ作成	「そうやサイクルルートマップ」の製作	マップの作成に係る各種データの整理	上川北部も含めた「きた北海道ルート」全体のマップの作成や地域ルートを取り上げたマップの作成
	※マップ作成要項：ロゴマーク、地図、ルート図、高低差、施設情報（ビューポイント、トイレ、食事・休憩施設、宿泊施設、サポート施設等）を必ず記載することとする。その他の情報を記載することも可能	マップの多言語化実施	「そうやサイクルルートマップ」の英語併記版の製作	「そうやサイクルルートマップ」の英語以外の多言語化	「そうやサイクルルートマップ」の英語以外の多言語化
ルートのPR	各種フォーラムや全国的なイベント、配信サイトを通じたPRを行う	関連イベント・配信サイト等におけるルートのPR実施	①イベント・シンポジウム等でPRを実施。 ②PR動画配信	動画作成に用いる素材の整理 「TEPPEN-RIDE」のポスター（通年版）を作成	・既存PR方法の拡充 ・新規PR手法の検討

きた北海道ルート アクションプラン一覧

4. その他の取組み



活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	目標値	現時点 ※計画策定済み自治体数	取組推進予定	
					当年度予定	次年度以降
へ活地の用方版推進自づ計転け画車	ルート及び取組を市町村の自転車活用推進計画に位置付け、継続的かつ主体的に質の高いサイクルツーリズム環境の提供に努める。	サイクルルート上に立地する自治体(通過自治体)において、地方版自転車活用推進計画を策定	ルート沿線地域における計画策定自治体数の目標値	計画策定済み自治体数	策定予定自治体数	策定予定自治体数
				0	2	14
			14	進捗率	進捗率	進捗率
				0%	14%	100%

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	現時点	取組推進予定	
				当年度予定	次年度以降
取組独自のルート	ルート独自の取組の実施有無 ※サイクルツーリズム推進やルートPR等の取組のうち、ルート独自(ルート協議会やルート沿線市町村等)で実施している取組があれば具体的に記載	公共交通連携・シーニックバイウェイ連携・イベント開催等	路線バスに自転車をそのまま積載できる「サイクルバス(宗谷バス)」を利尻島で運行している。	宗谷岬～稚内駅間の路線バスの利用状況やサイクルバスの運行可能性について調査・検討する。	宗谷岬と稚内駅をつなぐ路線バスをサイクルバスとして運行する。
			「TEPPEN-RIDE」をシーニックバイウェイルートが実施している。	今年度の開催は中止。ロゴガイドの発掘など次年度に向けた準備を行う。	インバウンドの取り込みに向けた体制を構築するとともに、周知・PRを充実させる。
			「エコ・モビリティ」をシーニックバイウェイルートが実施している。	パッケージ商品化に向けて、旅行会社との調整を行う。	具体的なツアー商品化とともに、周遊観光を楽しめる環境整備を行う。
			「利尻島一周ふれあいサイクリング(主催:実行委員会)」を実施している。	今年度のイベントは中止。次年度に向け、企画の検討等を行う。	参加者の満足度向上、サイクルツーリズムの推進を目指し、継続的に開催する。
			「チャリ・デ・秘境(主催:ろのべ・エコモビリティを考える会)」を開催している。	今年度のイベントは中止。次年度に向け、企画の検討等を行う。	幌延町の新たな観光コンテンツとして確立できるように、イベントの継続、情報発信に努める。

令和3年度

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン

令和3年3月4日

くしろサイクルツーリズム推進協議会

阿寒・摩周・釧路湿原ルート ルート概要

くしろサイクルツーリズム推進協議会

- ・事務局 特定非営利法人 美しい村・鶴居村観光協会 代表者:事務局長 服部政人
- ・構成員 釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、白糠町、鶴居村ほか、観光協会、民間等(25団体)

No.	協議会名	開設年月日	協議内容の概要
1	第1回運営部会(H31年度)	2018年8月22日	各団体の取組状況の情報共有
2	第2回運営部会(H31年度)	2018年9月25日	サイクルラック設置の検討、モニターツアーについて
3	第3回運営部会(H31年度)	2018年11月30日	活動状況報告
4	通常総会(R1年度)	2019年6月26日	平成31年度の活動報告、令和元年度の活動計画
5	第1回運営部会(R1年度)	2019年6月26日	各団体の取組状況の情報共有
6	第1回会議(R1年度)	2019年9月2日	ルート協議会について
7	第2回運営部会(R1年度)	2019年6月26日	サイクルラックの設置について、ロゴの使用方法について
8	第3回運営部会(R1年度)	2019年11月26日	ルート協議会、実施計画書等について

ルートの魅力

○キャップレース

- ・雄大なふたつの国立公園を感じるサイクルロード

○主な経由地

国立公園:阿寒摩周国立公園、釧路湿原国立公園

北海道遺産:摩周湖(弟子屈町)

景勝地等:釧路市丹頂鶴自然公園、道の駅阿寒丹頂の郷、釧路湿原美術館、阿寒国際ツルセンター、双湖台、双岳台、道の駅摩周温泉、釧路圏摩周観光文化センター、和琴半島、美幌峠、シラルトロ湖、サルボ展望台、塘路湖、達古武沼、細岡展望台、道の駅しらぬか恋間

○その他

地域ルート:道道 釧路阿寒自転車道線

その他:基幹ルートと接続する地域ルートを今後検討する予定

ゲートウェイ(起終点)の考え方

- ・道外、海外サイクリストの誘客を想定し、たんちよう釧路空港を起点、終点のゲートウェイとして設定し、機能としては、自転車の工具貸出、自転車の組み立てスペース、レンタサイクル、自転車・荷物託送サービスや着替えスペース等の機能を充実する計画としている。

①起点:たんちよう釧路空港

機能:自転車の工具貸出、自転車の組み立てスペース、レンタサイクル、自転車・荷物託送サービスや着替えスペース等

②終点:たんちよう釧路空港

機能:自転車の工具貸出、自転車の組み立てスペース、レンタサイクル、自転車・荷物託送サービスや着替えスペース等



サポートステーション



更衣可能の着替え台

- ・全長約304km
- ・通過市町村:釧路市、弟子屈町、標茶町、釧路町、白糠町
- ・自転車ネットワーク計画位置づけの有無:無し
- ・地域ルート:道道 釧路阿寒自転車道線。その他:基幹ルートと接続する地域ルートを今後検討予定



阿寒・摩周・釧路湿原ルート(走行環境:ルート案内)

- 令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容
- ・分岐点に路面表示・案内看板を設置
(整備済 **138箇所:92%** ⇒ 当年度末 **147箇所:98%**)
 - ・単路部(約5km間隔)に路面示・案内看板を設置
(整備済 **59箇所:73%** ⇒ 当年度末 **61箇所:75%**)

案内看板設置状況(交差点部)



予告案内看板



分岐案内看板



分岐路面表示

案内看板設置状況(単路部)



単路部(5km間隔)設置箇所



単路部(5km間隔)設置箇所



阿寒・摩周・釧路湿原ルート(走行環境:走行環境の安全性・注意喚起)

- 令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容
- ・主要交差点部における路面表示
(整備済**34箇所:50%**⇒当年度末 **34箇所:50%**)
 - ・急カーブ前の矢羽根設置
(整備済**110箇所:100%**⇒当年度末 **110箇所:100%**)
 - ・トンネル手前の矢羽根設置
(整備済**16箇所:100%**⇒当年度末 **16箇所:100%**)

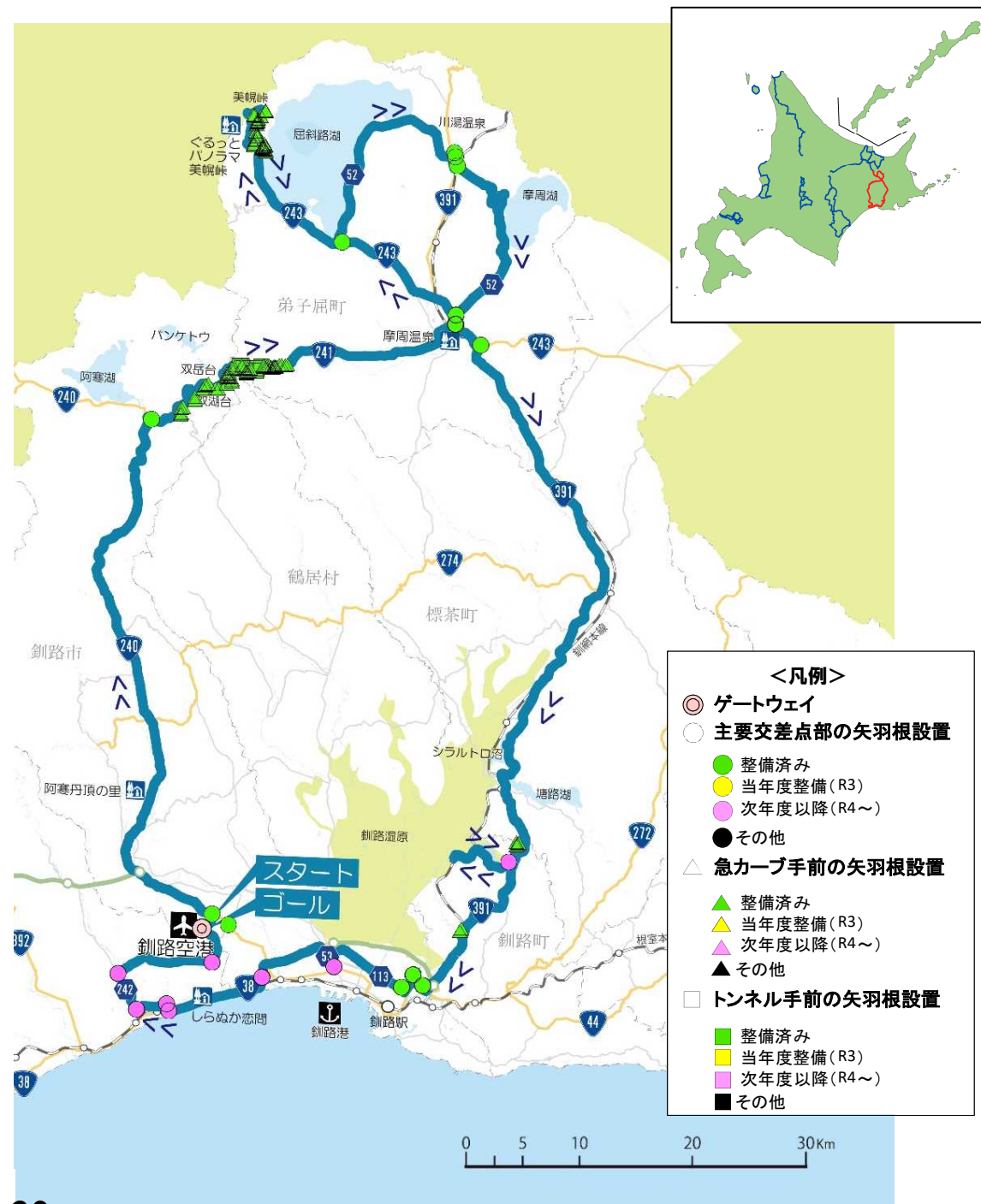
●主要交差点部における路面表示(国道391号)



●急カーブ前の矢羽根設置(国道243号)



●トンネル路面表示(国道241号)



阿寒・摩周・釧路湿原ルート(受入環境)

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・ゲートウェイ1箇所
①たんちょう釧路空港
要件6件のうち5件:83%を満たす ⇒ R4年度以降:100%
- ・休憩施設の設置
目標20km/箇所、現在23.6km/箇所:整備率33% ⇒ 整備予定計:32.5%
- ・宿泊施設の設置
目標60km/箇所、現在10.6km/箇所:整備率100% ⇒ 整備予定計:100%
- ・緊急時のサポート体制
要件4件のうち4件:100%を満たす ⇒ R4年度以降:100%

●ゲートウェイ



たんちょう釧路空港

●休憩施設



道の駅 しらぬか恋問



道の駅 阿寒丹頂の里

●サイクリストの移動のサポート

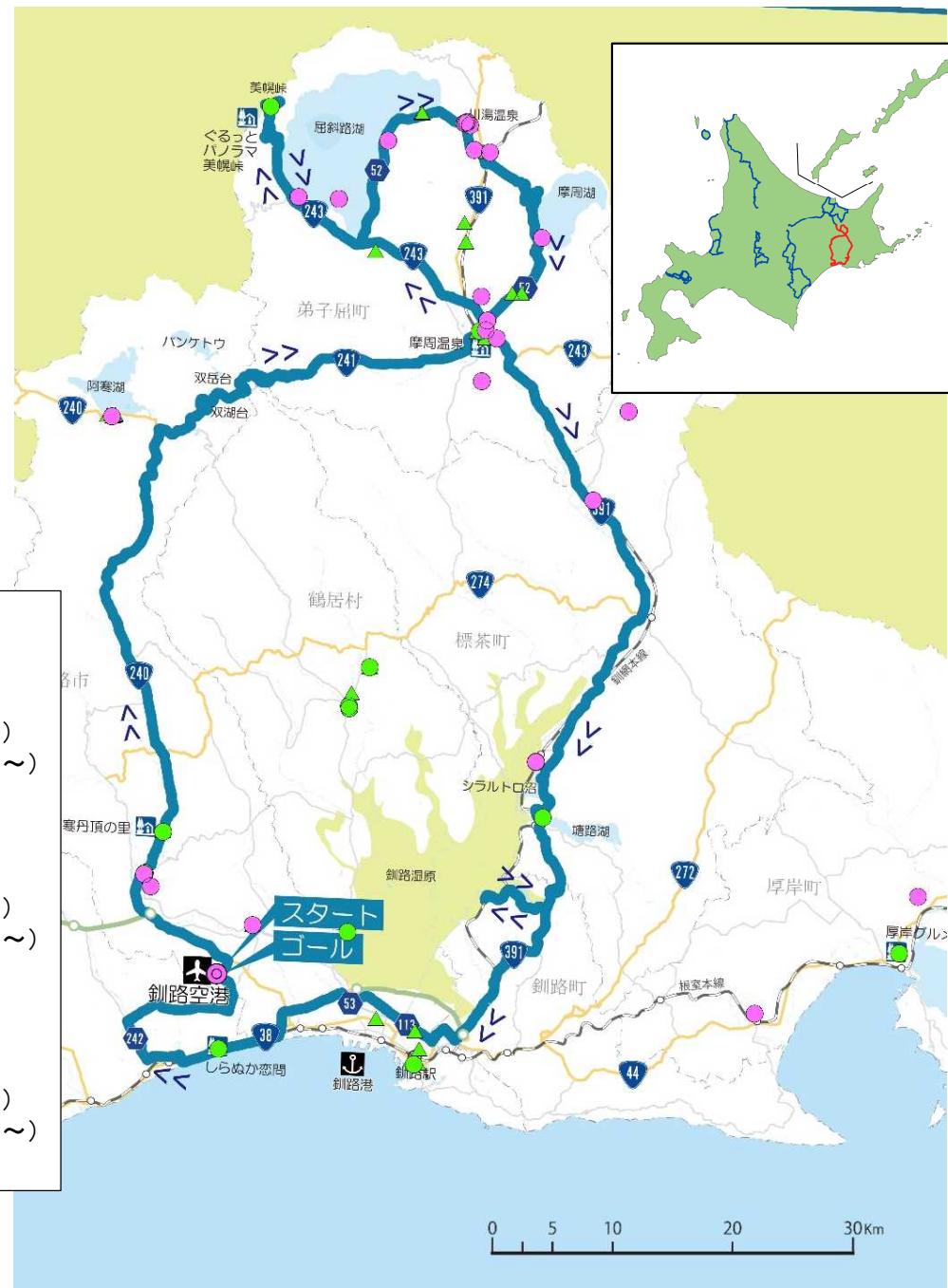


サイクルタクシー



緊急時のサポート

- <凡例>
- ◎ ゲートウェイ
 - 整備済み
 - 当年度整備(R3)
 - 次年度以降(R4~)
 - その他
 - 休憩施設
 - 整備済み
 - 当年度整備(R3)
 - 次年度以降(R4~)
 - その他
 - △ 宿泊施設
 - ▲ 整備済み
 - ▲ 当年度整備(R3)
 - ▲ 次年度以降(R4~)
 - ▲ その他



阿寒・摩周・釧路湿原ルート(情報発信)

○令和4年(2022年)3月までに実施する取組内容

- ・コミュニケーションサイトの周知
サイクリングマップを活用したサイト周知(実施)
- ・各種イベントでのサイトPR実施(実施)
- ・ロゴを用いた商品を作成・販売(実施なし、次年度以降検討)
- ・ルートマップの作成
記載内容に沿ったマップ作成(実施)
- ・マップの多言語化実施(実施なし、次年度以降検討)
- ・ルートのPR
関連イベント・配信サイト等におけるルートのPR実施(実施)

●ルートマップの作成



サイクルルートマップ

蛇腹折りで
ポケットサイズ

●サイクリングマップを活用したサイト周知



サイクルルートマップでサイト(サイクルート北海道)をPR

●各種イベントでのサイトPR実施



イベント時に
ポケットティッシュにチラシを
入れてPR

●ルートのPR



イベント時のPR
パネル展示、マップ配布

阿寒・摩周・釧路湿原ルート(その他の取組み)

○令和3年(2021年)3月までに実施する取組内容

・地方版自転車活用推進計画への位置づけ

関連市町村: **5**自治体:現時点**0%** ⇒ 次年度以降 **5**自治体: **100%**

・ルート独自の取組み

○ロングライドのみではなく、街中サイクリング、MTBによるサイクリングを実施



鶴居村 街中サイクリング



鶴居村 街中サイクリング



阿寒ロイヤルバレイスキー場
マウンテンバイク



阿寒ロイヤルバレイスキー場
マウンテンバイク



阿寒ロイヤルバレイスキー場
マウンテンバイク

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン一覧

1. 走行環境

現状  取組推進  取組完了

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目			整備済み (R2年度末)	取組推進予定	
						当年度予定	次年度以降
① ルート案内	ルートが右左折で分岐する交差点で「予告」「分岐」「確認」の案内看板シールを双方向に設置する ※単路部は5km間隔で双方向に案内を設置。設置にあたっては、道路附属物等の支柱への「案内看板シール」を基本としつつ、適切な支柱が無い場合には「案内用の路面表示」によりルート案内を設置する	案内看板シール設置【交差点部】	150	設置数	138	147	150
			(必要数)	整備率	92%	98%	100%
		案内看板シール設置【単路部、5km間隔】	81	設置数	59	61	81
			(必要数)	整備率	73%	75%	100%
② 走行環境の安全性・注意喚起	国道×道道以上の交差点分岐後に10m間隔で路面表示(矢羽根)を2個以上設置する	路面表示(矢羽根)設置【主要交差点部】	68	設置数	34	34	68
			(必要数)	整備率	50%	50%	100%
	急カーブの手前では10m間隔で路面表示(矢羽根)を2個以上設置する	路面表示(矢羽根)設置【急カーブ手前】	110	設置数	110	110	110
			(必要数)	整備率	100%	100%	100%
	トンネルの手前に10m間隔で矢羽根を2個以上路面表示(矢羽根)を設置する	路面表示(矢羽根)設置【トンネル手前】	16	設置数	16	16	16
			(必要数)	整備率	100%	100%	100%
	見通しの悪いトンネルの手前には、注意喚起看板を合わせて設置する	注意喚起看板設置【トンネル手前】	16	設置数	16	16	16
			(必要数)	整備率	100%	100%	100%

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン一覧

2. 受入環境

現状 ➡ 取組推進 ➡ 取組完了

活動メニュー	対象施設 様式2-1の名称と整合	実施内容	整備進捗率		
			現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定
（ルート起終点の交通拠点整備点	たんちよう釧路空港	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供（ルート案内看板等）	-	-	○
		必要な情報（サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート）の提供	○	-	-
		サイクルラック	○	-	-
		トイレの設置	○	-	-
		水分補給（自動販売機・飲料水の提供）	○	-	-
		休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子等）	○	-	-
			5/6	5/6	6/6

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン一覧

2. 受入環境

現状 ➡ 取組推進 ➡ 取組完了

活動メニュー	実施内容	整備予定数 (目安)	整備進捗率			現時点 整備率	当年度予定 整備率
			現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定		
(サイクルステーション)の整備 休憩施設	休憩施設の設置間隔(目安:1か所/20km)	40	13 1箇所/23.69km			32.5%	
	サイクルラックの設置	40	40	0	0	100.0%	100.0%
	トイレの設置	40	40	0	0	100.0%	100.0%
	水分補給設備の整備(自動販売機・飲料水の提供)	31	31	0	0	100.0%	100.0%
	休憩スペース・設備の有無(屋根付きのテーブル・椅子等)	13	13	0	0	100.0%	100.0%
	空気入れの貸出	10	10	0	0	100.0%	100.0%
	必要な物品の販売(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)	6	6	0	0	100.0%	100.0%
	必要な情報の提供 (サイクルルート、ルートマップ、宿泊・休憩施設、見所、食事、緊急サポート)	15	15	0	0	100.0%	100.0%
	工具の貸出	5	5	0	0	100.0%	100.0%
	サイクルルートへのアクセス方法、ルート案内等の情報提供(ルート案内看板等)	3	2	0	1	66.7%	66.7%
	WiFi	11	11	0	0	100.0%	100.0%
宿泊施設の整備	宿泊施設の設置間隔(目安:1か所/60km)	29	29 1箇所/10.62km			100.0%	
	室内(フロント、ロビー、客室等)で自転車の預かり・保管	22	22	0	0	100.0%	100.0%
	フロント等にて荷物の保管	23	23	0	0	100.0%	100.0%
	洗濯機の設置	15	15	0	0	100.0%	100.0%
	宅配の受け取り	28	28	0	0	100.0%	100.0%
	洗車施設	8	8	0	0	100.0%	100.0%
	日帰り利用も可能なシャワー設備	13	13	0	0	100.0%	100.0%

活動メニュー	実施内容	整備進捗率		
		現時点	当年度整備予定	次年度以降整備予定
サ緊急体制時の	緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報等に関する情報提供	マップの更新 HP等への掲載検討 サイクルルート北海道HPへの掲載	マップの更新 HP等への掲載検討 サイクルルート北海道HPへの掲載	マップの更新 HP等への掲載検討 サイクルルート北海道HPへの掲載
	緊急通報が可能なように携帯電話のカバー圏に全線が含まれている ※含まれていない場合には一定間隔で緊急連絡が可能な公衆又は非常電話が存在する	携帯電話カバー圏となるように、コース変更を検討	携帯電話カバー圏となるように、コース変更を検討	コース変更案を策定
	トラブル時の自転車メンテナンスおよび自転車搬送サービスの提供	既存の取り組みの継続 及び新規取組の検討	継続 新規取組の検討	継続 新規取組の検討
	上記サービスについて、サイクリストが緊急時に利用するために必要な情報提供	既存の取り組みの継続 及び新規取組の検討 サイクルルート北海道への情報掲載検討	継続 新規取組の検討	継続 新規取組の検討

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン一覧

3. 情報発信

現状 → 取組推進 → 取組完了

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	実施の有無	取組推進予定	
			現時点	当年度予定	次年度以降
コミュニケーション サイトの周知	コミュニケーションサイトをより多くのサイクリストに周知しルートの評価をして頂くために、ポスターやサイクリングマップ、各種イベントでのPRなどを積極的に行う	ポスター・サイクリングマップを活用したサイト周知	実施済	継続	継続
		各種イベントでのサイトPR実施	実施済	継続	継続
ロゴマーク の活用	サイクルツーリズムの活動を実施するために必要な資金を得るために、ロゴを用いた商品を作成し、販売することができる	ロゴを用いた商品を作成・販売	ロゴのみ作成 商品化未定	商品化検討	商品化検討
ルートマップ の作成	ルートの起終点の交通拠点(空港及び鉄道主要駅等)やサイクルステーション等で配布するサイクルマップは以下に準拠して作成する	記載内容に沿ったマップ作成	実施済	修正案を検討	更新
	※マップ作成要項: ロゴマーク、地図、ルート図、高低差、施設情報(ビューポイント、トイレ、食事・休憩施設、宿泊施設、サポート施設等)を必ず記載することとする。その他の情報を記載することも可能	マップの多言語化実施	未	検討	作成
ルートのPR	各種フォーラムや全国的なイベント、配信サイトを通じたPRを行う	関連イベント・配信サイト等におけるルートのPR実施	実施済	継続	継続

阿寒・摩周・釧路湿原ルート アクションプラン一覧

4. その他の取組み

現状 → 取組推進 → 取組完了

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	目標値	現時点 ※計画策定済み自治体数	取組推進予定	
					当年度予定	次年度以降
へ活地の活用 地方版自転車 位置づけ計画	ルート及び取組を市町村の自転車活用推進計画に位置付け、継続的かつ主体的に質の高いサイクルツーリズム環境の提供に努める。	サイクルルート上に立地する自治体(通過自治体)において、地方版自転車活用推進計画を策定	ルート沿線地域における計画策定自治体数の目標値	計画策定済み自治体数	策定予定自治体数	策定予定自治体数
				0	0	5
			5	進捗率	進捗率	進捗率
				0%	0%	100%

活動メニュー	実施内容	整備・実施項目	現時点	取組推進予定	
				当年度予定	次年度以降
取組の独自ルート	ルート独自の取組の実施有無 ※サイクルツーリズム推進やルートPR等の取組のうち、ルート独自(ルート協議会やルート沿線市町村等)で実施している取組があれば具体的に記載	ロングライドのみではなく、街中サイクリング、MTBによるサイクリングを実施中。将来的に地域ルートの整備を検討し、地域ごとのサイクルツーリズムの推進を図る。	実施済	電動アシスト自転車レンタサイクル実証実験	検討中
			実施済	山間地域でのMTB活用の検証	検討中